

A photograph of a female surgeon in a blue scrub cap and a light blue surgical mask, looking intently. Her hands are visible, one near her head. The background shows a blurred surgical light fixture with multiple circular lights.

第105期 株主通信

# BUSINESS REPORT

2019年4月1日～2020年3月31日

証券コード:4543

# 北里柴三郎博士のDNAを引き継いで 新しい価値創造に挑戦し、 医療を通じて社会に貢献する

株主の皆様には、日頃よりテルモグループの事業活動にご理解、ご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)が猛威を振るうなか、お亡くなりになられた方々に謹んでお悔やみ申し上げますとともに、罹患された皆様の一日も早い回復をお祈り申し上げます。

テルモグループは、新型コロナウイルス感染症の世界的拡大を前に、2020年1月には日本で対策本部を立ち上げ、速やかに危機管理体制に移行しました。目まぐるしく状況が変化するなか、全世界から情報を収集し、各拠点と緊密な連携をとりつつ、グループを挙げて今回の危機に対応しています。アソシエイトの健康と安全の確保を最優先事項に掲げるとともに、生産拠点の予防対策を最も厳しいレベルにまで引き

上げ、「医療を止めない」という方針を着実に実践しています。

今回の新型コロナウイルス感染症の予防と治療においては、テルモ製品も様々な貢献を果たしています。感染が拡大するなか、日常生活においても発熱を確認できる体温計のほか、罹患患者が重症化した場合の集中治療管理の現場では、ECMO(エクモ:体外式膜型人工肺)が使用されています。加えて、米国においては血液成分分離装置を活用した治療法も新たな可能性として注目を集めています。

当社設立の発起人の一人である北里柴三郎博士は、伝染病予防と細菌学の研究にその人生を捧げました。テルモにはそのDNAを引き継いで感染対策に尽力してきた長い歴史があります。私たちは、2021年の創立100周年を見据え、自らの歴史と創業の精神に誇りをもって、この難局に立ち向かう覚悟です。

また、高齢化社会の進展を背景に医療現場は待ったなしの変革を迫られています。今回の新型コロナ危機はこれを加速することになるでしょう。新しい医療をリードするためには我々自身も変化しなければなりません。そこで私は、5か年の中期成長戦略の4年目を迎える2020年度を、「変化と活性を促す年」と位置づけました。これからも医療現場に新しい価値をお届けできるよう、多様な人材の活躍を促進し、グローバルな組織変革を実現していきます。

今後とも一層のご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。



代表取締役社長CEO  
佐藤 慎次郎

## 2020年3月期期末の業績報告

売上収益 **6,289** 億円 前期比 **+4.9%**

営業利益 **1,106** 億円 前期比 **+3.7%**

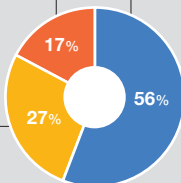
### カンパニー別売上収益

血液・細胞  
テクノロジーカンパニー

**1,072** 億円  
前期比 **+2.1%**

ホスピタルカンパニー

**1,710** 億円  
前期比 **+3.1%**



心臓血管カンパニー

**3,506** 億円  
前期比 **+6.7%**

### 地域別売上収益

アジア他 **728** 億円

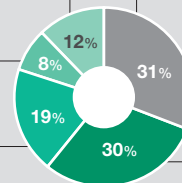
前期比 **+5.7%**

中国 **473** 億円

前期比 **+2.4%**

欧州 **1,211** 億円

前期比 **+0.6%**



日本 **1,963** 億円

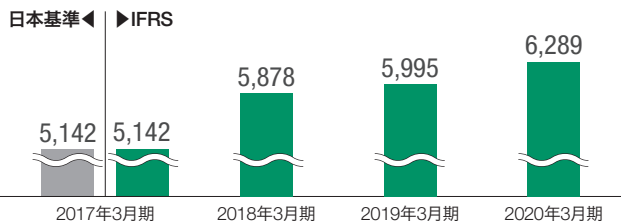
前期比 **+4.2%**

米州 **1,914** 億円

前期比 **+9.0%**

海外合計 **4,326** 億円 前期比 **+5.2%**

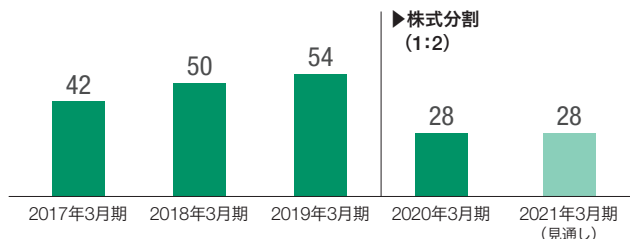
### 売上収益の推移 (単位: 億円)



※当社グループは2018年3月期期末決算より、国際会計基準(IFRS)を適用しています。

当期の売上収益は、日本における薬価・特定保険医療材料価格の改定や、新しく導入される欧州医療機器規則(MDR)への適合に伴う準備費用に加えて、第4四半期には新型コロナウイルス感染症の影響があったものの、期初の業績予想を上回り過去最高の結果となりました。2021年3月期は、主に心臓血管カンパニーにおいて引き続き新型コロナウイルス感染症の影響が見込まれますが、中長期成長戦略の4年目として「グローバル戦略の加速」「製品パイプラインの充実化」「オペレーションの強化・最適化」「ビジネスモデルの進化」の各施策に着実に取り組んでまいります。

### 配当金の推移 (1株当たり配当金、単位: 円)



当社は、持続的かつ収益性のある成長を確保するため、利益の再投資を適正かつ積極的にすすめ、企業価値の一層の増大を図っていきます。株主の皆様への利益配分につきましては、安定的に配当を増やし、中長期的に配当性向30%を目指してまいります。当期の年間配当金につきましては、1株につき28円といたします。従って、期末配当金は、すでにお支払いした中間配当金1株につき14円を差し引き、1株につき14円となります。次期の年間配当金につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響を鑑みて、1株につき28円(うち中間配当金14円)にて当面据え置きを予定しております。

### 2021年3月期 業績見通し

2021年3月期の業績見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の影響について、合理的な算定が困難であることから、現時点では未定とさせていただきます。今後、業績予想の開示が可能となった段階で速やかに開示いたします。

# 新型コロナウイルス感染症への テルモの取り組み

新型コロナウイルス感染症の猛威が世界中に及ぶなか、感染拡大を防止するために、各国が必死の対応に迫られています。テルモは、「医療を通じて社会に貢献する」という企業理念を実践するため、3つの基本方針に基づいて事業活動を推進しています。

1. 全てのアソシエイトの健康と安全を最優先にした対応を進めること。
2. 「医療を止めない」ため、製品の安定供給に努めること。
3. テルモグループの力を結集して、感染防止と治療に積極的貢献を図ること。

感染症に立ち向かう医療現場を支え、少しでも多くの患者さんが適切な医療を受けられるように、テルモグループの力を結集して取り組んでいることをご紹介します。



「医療を止めない」ために——

## 「ダイヤモンド・プリンセス号」に届けた 一箱の生活必需品

2020年2月、船内の感染者発生で、大きな注目を集めたクルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス号」。そこには、日常的にテルモの製品を使用されている患者さんも乗船していました。

「自己導尿用のカテーテルが尽きてしまった。至急、横浜の船着場まで届けてもらえないか」——患者さんからのSOSが届いたのは、クルーズ船が横浜港沖に長期停泊し、大規模検疫を実施している最中のことでした。本来、乗船している患者さんに医療機器を届けるには、船医や運航会社の要請のもと、厚生労働省や検疫所が主体となって販売元企業に手配を依頼します。そのため、一日足らずで製品を届けることなど、まず不可能です。しかし、導尿

カテーテルは排尿時に日常的に使うもので、これを使用しないと腎臓に負担がかかったり、細菌が繁殖して炎症を起こしてしまいます。この緊急事態に対して、テルモの各部門は、速やかにカテーテルを届けられるよう全力を尽くしました。

テルモにSOSが届いたのは朝9時頃。船は同日の17時には離岸してしまいます。本社の指示のもと、厚労省や検疫所と交渉を重ね、患者さんに安心していただくために、コールセンター、事業部門、物流部門、営業拠点が分刻みで連絡を取り合って一箱のカテーテルをリレーしていきました。途中、数々の困難にぶつかりながらも、アソシエイト一人ひとりの願いと行動力がつながり、なんとかお届けすることができました。患者さんからは「本当にありがとう」というお言葉をいただき、関係者一同、ほっと胸をなで下ろしました。後日、厚労省からも、今回の支援に対する感謝状をいただきました。

薬剤耐性菌や病原菌などの手作業での拭き残し対策として——

## 「ライトストライク」で パルスドキセノン紫外線照射

院内の感染対策においては、手洗いなどの基本的な予防策とともに、接触感染を予防することが重要です。接触感染は、感染者に直接触れた場合だけでなく、ドアノブや壁、ベッドレール等、病原体が付着したものに触れた場合でも起こります。これらの消毒は手作業で行われていますが、作業員によるムラが発生するほか、抗菌薬が効かない細菌（薬剤耐性菌）には効果が薄いなど、医療従事者を悩ませています。

テルモは、薬剤耐性菌や病原菌などの手作業での拭き残し対策として、パルスドキセノン紫外線を照射するロボット「ライトストライク」を2017年より日本で販売し、1部屋当たり約15分程度という短時間で使用できることから、徐々に導入が広がっています。引き続き紫外線照射という新たな価値の普及に取り組めます。



医療現場の“最後の砦”として——

## 重症の患者さんの治療に 貢献するECMO

ウイルス感染によって肺炎が悪化し、重症呼吸不全などの症状に陥った局面では、人工肺と遠心ポンプを用いて心臓や肺の機能を一時的に代行し、呼吸・血液循環をサポート（心肺補助）する治療が行われます。新型インフルエンザや新型コロナウイルス感染症に対する治療においては、感染症から回復するための時間を確



保することを一番の目的に実施されています。

テルモは、1995年に世界初の緊急用心肺補助システムを発売して以来、常にこの治療の領域をリードしてきました。テルモのECMOは今や国内市場の7割のシェアを獲得していますが、今回の感染拡大に伴って中国や韓国をはじめとする世界各国からも問い合わせが急増しています。まずは日本をはじめとした、すでに販売を開始している地域で需要に応じた供給をするため、部材調達や生産シフトの調整による増産を実施しています。

最先端の治療に貢献するために——

## 「スペクトラオプティア」で 免疫の過剰反応抑制へ

感染症に罹患すると、ウイルスを排除するために、サイトカインというたんぱく質が血液中に分泌されます。それが過剰な免疫反応（サイトカインストーム）を起こすと、重篤な呼吸障害を併発する場合があります。血液中のサイトカインを減らすことで、この過剰反応を抑制することが期待できます。

テルモの遠心性血液成分分離装置「スペクトラオプティア」は、血液を血球と血漿に分離する機器です。分離した血漿を、活性炭と樹脂が詰まった専用のカートリッジに通すことで、サイトカインが少なくなった血液を体内に戻すことができます。

2020年4月、米国食品医薬品局（FDA）は、新型コロナウイルス感染症の治療に限り、この「スペクトラオプティア」とスイスのメーカー・セラピューティクス社「D2000吸着カートリッジ」を組み合わせ使用することを許可しました。これは、FDAが新型コロナウイルス感染症用に治療機器の緊急使用を許可した初めての事例です。テルモは今後も、米国をはじめとした各国の行政機関や医療関係者と協力して、最先端治療機器の開発と普及に貢献していきます。



## 株主総会 決議内容

2020年6月25日に開催された当社第105期定時株主総会において、以下の通り決議されました。

### 第1号議案 剰余金処分の件

当期の期末配当金につきましては、1株につき14円となりました。これにより、中間配当金14円を加えた年間配当金は28円となりました。

### 第2号議案 取締役(監査等委員である取締役を除く)8名選任の件

三村孝仁、佐藤慎次郎、高木俊明、羽田野彰士、西川恭、上田龍三および黒田由貴子の7氏が再選され、西秀訓氏が新たに選任されました。(上田龍三、黒田由貴子および西秀訓の3氏は、社外取締役です)

### 第3号議案 補欠の監査等委員である取締役1名選任の件

坂口公一氏が選任されました。  
(坂口公一氏は、補欠の社外取締役です)

## 期末配当金のお支払いについて

第105期期末配当金は、同封の「期末配当金領収証」によりお支払いいたしますので、払渡期間中(2020年6月26日～2020年7月31日)にお近くのゆうちょ銀行または郵便局でお受け取りください。また、口座振込ご指定の方には、「期末配当金計算書」および「配当金振込先ご確認」のご案内を同封いたしましたので、ご確認ください。

## 株式についてのご案内

- ◎事業年度 4月1日から3月31日まで
- ◎株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
- ◎同連絡先(郵便物送付・電話照会)  
〒137-8081 新東京郵便局私書箱29号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
電話:0120-232-711(フリーダイヤル)
- ◎単元株式数 100株



テルモは、第一次世界大戦の影響で輸入が途絶えた体温計を国産化するために、北里柴三郎博士をはじめとする医師らが発起人となり、1921年に設立されました。

北里柴三郎博士(資料提供:学校法人北里研究所)

テルモ株式会社(証券コード:4543)

〒151-0072 東京都渋谷区幡ヶ谷二丁目44番1号 電話:03-3374-8111(代表)  
<https://www.terumo.co.jp/>

## 株主優待のご案内

### ご希望者全員に 「2021年テルモカレンダー」をお送りします



同封はがき、または下記ウェブサイトからご応募いただいたすべての株主様に、「2021年テルモカレンダー」をお送りします(発送は2020年12月頃を予定)。テルモカレンダーでは、毎年、画家・絵本作家を起用しており、2021年版より新たな作家をお届けいたします。

※写真は2020年版です。

応募サイトURL:

<https://www.enq-plus.com/enq/terumocal2021/form/>

お問い合わせ 0120-993-637(平日10～17時)

